

2016.8.30(火)

八代地域障がい者就労支援ネットワーク

# 災害時の対応と支援について

～熊本地震を通して～



# 大規模地震の頻発

日時	最大震度	震源地
4/14(木) 21:26	7	熊本地方
4/14(木) 22:07	6弱	熊本地方
4/15(金) 00:03	6強	熊本地方
4/16(土) 01:25	7	熊本地方
4/16(土) 01:45	6弱	熊本地方
4/16(土) 03:55	6強	阿蘇地方
4/16(土) 09:48	6弱	熊本地方

※ 気象庁では最大震度6弱以上を「大規模地震」としている

# 熊本地震の被害

- 4月14日より3日間のうちに、震度6弱以上の地震が7回観測された。益城町では震度「7」を2回観測。
- 益城町とその周辺地域に被害が集中。遠くは福岡、大分県にまで及ぶ。家屋の倒壊、火災、水道管漏水、停電、土砂崩れ、道路陥没、通行止め、空港・港湾の機能停止など。
- 最大時(4月17日)の避難所数855カ所、避難者数183,882人(県人口の10%)
- 死者49人、負傷者1,664人(1ヵ月経過時点)
- 全壊2,860棟、半壊5,458棟、一部損壊32,789棟(1ヵ月経過時点)

# 熊本地震とライフラインへの影響

- ・ 停電203,700戸、ガスの供給停止100,500戸、断水は熊本市、阿蘇、益城、宇城地域など広範囲に

⇒ 電気は4月20日に、ガスは4月30日に県内全域で解消

⇒ 水道は4月17日より試験配水

4月19日に熊本市内で80%以上の通水

1ヵ月経過時点では、益城、阿蘇地域で約3,000戸の断水

水道管は県内各所で漏水。復旧が遅れる。  
道路の寸断もあり水を運ぶのが難しかった。  
エコノミー症候群の発症も問題になった。

# 環境の変化と発達障がい

発達障がいの  
特性

自閉症スペクトラム (ASD)

限局性学習症  
(LD)

注意欠如多動症  
(ADHD)

災害発生

環境の変化

イライラ、意欲の低下、涙が出る、  
眠れない、食欲がない、頭痛、めまい、  
腹痛、暗闇が怖い、夜尿、こだわり、  
感覚過敏が強くなる、パニックなど

※出現の時期や強さには個人差がある。



# (参考)発達障がいの特性について

## ◀ それぞれの障害の特性

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

知的な遅れを伴うこともあります

自閉症

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

### 注意欠陥多動性障害 AD/HD

- 不注意(集中できない)
- 多動・多弁(じっとしてられない)
- 衝動的に行動する(考えるよりも先に動く)

### 学習障害 LD

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

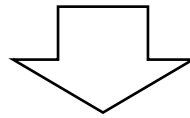
- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用(言語発達に比べて)

※このほか、トゥレット症候群や吃音(症)なども発達障害に含まれます。

# 発達障がい当事者の困難さと災害への備え(1)

## 困難さ

- ・高齢者や妊婦の方の対応が先になっていた。
- ・歩いたり、走ったりしていることから、困難さに気づかれにくい。



## 備え

- ・一般的な避難所が難しいときは、福祉避難所の利用も考えておいた方がよい。
- ・避難行動要支援者名簿への登録。
- ・ヘルプカードを作っておきたい。災害時には、カードがあるだけで対応が大きく変わることがある。また普段から携帯し使い慣れていた方が、いざというときに活用しやすい。

## (参考)福祉避難所

- ・ 一般の避難所では配慮が難しい高齢や障害のある方、妊産婦等の**要配慮者**のために、特別な配慮がなされた避難所のこと。
- ・ 高齢者施設、障がい者施設などの社会福祉施設が指定を受けていることが多い。
- ・ 必要な居宅スペースの提供のほか、**要配慮者**や保護者からの相談を受け付けている。

※ 上記の**要配慮者**は、市町村が作成する「**避難行動要支援者名簿**」に登録されている。名簿には、住所、氏名、連絡先、支援を必要とする理由などが掲載してある。

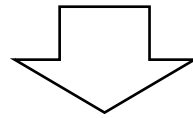
※ 自ら名簿への掲載を求めることもできる。



# 発達障がい当事者の困難さと災害への備え(2)

## 困難さ

- ・避難所の体育館では人が多い上に音が反響しやすかった。
- ・携帯電話の地震警報の音も恐かった。
- ・様々な匂いが混ざって避難所を利用できなかった。



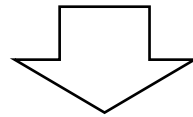
## 備え

- ・アイマスク、イヤマフ、デジタル耳栓、毛布など外からの刺激を和らげるものを試しておく。
- ・避難所、福祉避難所以外(テントなど)で過ごす、寝泊りする経験をしておく。

# 発達障がい当事者の困難さと災害への備え(3)

## 困難さ

- ・食事は普段食べ慣れているものでないと難しい。
- ・飲み物の支援物資が水しかなく、水分補給が難しかった。



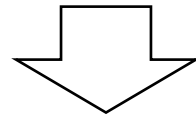
## 備え

- ・普段から食べているもの、飲んでいるものを備蓄しておく。
- ・災害時のストレスも考慮して、食べやすいものがよい。交通機関が止まるなども考えて準備をしておく。
- ・非常食を食べる経験を試してみる。

# 発達障がい当事者の困難さと地震災害への備え(4)

## 困難さ

- ・トイレは自宅のものと仕様が大きく異なるため、使うことができず、その度に自宅まで戻る必要があった。
- ・日用品(歯ブラシ・シャンプー・トイレトペーパー)は、決まった物を使っていたので、手に入らなくて困った。



## 備え

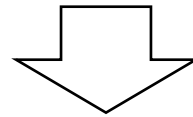
- ・避難所の設備を確認しておいた方がよい。
- ・普段から、自宅以外のトイレの利用やほかのものを使う経験をしておく。
- ・同じものを複数、何カ所かにわけて確保しておくか、代用できるような工夫をしておく。

# 発達障がい当事者の困難さと災害への備え(5)

## 困難さ

- ・災害時には犯罪が増えることもある。それにも関わらず、夜に人のいないところへ一人でいった。

## 備え

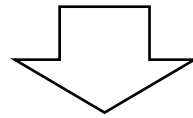


- ・普段から災害の発生状況に応じた行動の確認をしておいた方がよい。
- ・防犯グッズを実際に使ってみる。
- ・その場を離れる時は、周囲の人に連絡、相談をしてから行くようにしておく。

# 発達障がい当事者の困難さと災害への備え(6)

## 困難さ

- ・地震が恐くて家に戻れなかった。
- ・風呂に入っているときに地震にあった。それ以来、風呂に入ることができなくなった。



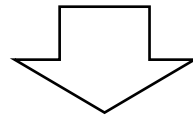
## 備え

- ・余震は続く可能性がある。ごまかすことはできない。次に地震が起きたときに、どこにいれば安全か、どこへ逃げればよいのかなど具体的に、家族皆で確認をしておきたい。

# 発達障がい当事者の困難さと災害への備え(7)

## 困難さ

- 避難所は行き慣れていない方面であったため辿り着くのに苦労した。時間がかかった。



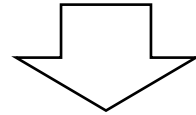
## 備え

- 避難所となる施設までの安全なルートを確認しておく。
- 実際にドライブで通っておく。
- 災害時には人が集中することもあるため、避難所は2カ所以上は考えておきたい。
- 避難所マップでも確認をしておく。

# 発達障がい当事者の困難さと地震災害への備え(8)

## 困難さ

- ・避難所に到着したが、案内表示がなく、入り口や駐車場、受付の場所が分からなかった。



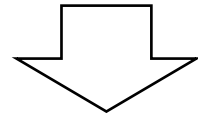
## 備え

- ・避難所(避難する予定の施設)を見学しておく。

# 発達障がい当事者の困難さと災害への備え(9)

## 困難さ

- ・停電が続いて、デジタル機器(ゲーム機、タブレット、パソコンなど)が使えずに困った。



## 備え

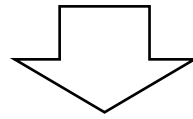
- ・迷路、塗り絵、クロスワードなどのデジタル機器以外で余暇を過ごす経験をしておくと良い。
- ・どんなものだと過ごせるかを見つけておく。



# 発達障がい当事者の困難さと災害への備え(10)

## 困難さ

- ・ 事業所など普段利用している場所が、お休みになったので、子どもが日中に過ごす場所がなかった。
- ・ 福祉サービスなどの利用をしておらず、保護者が離れられなかった。



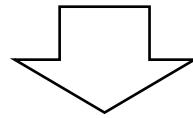
## 備え

- ・ 震災時は当事者、保護者の余裕がなくなっていく。そのため、普段から近所の方、親戚など信頼できる方と一緒に過ごす経験をし、必要なときをお願いできるようにしておきたい。
- ・ 普段から福祉サービスの利用をしておく。

# 発達障がい当事者の困難さと災害への備え(11)

## 困難さ

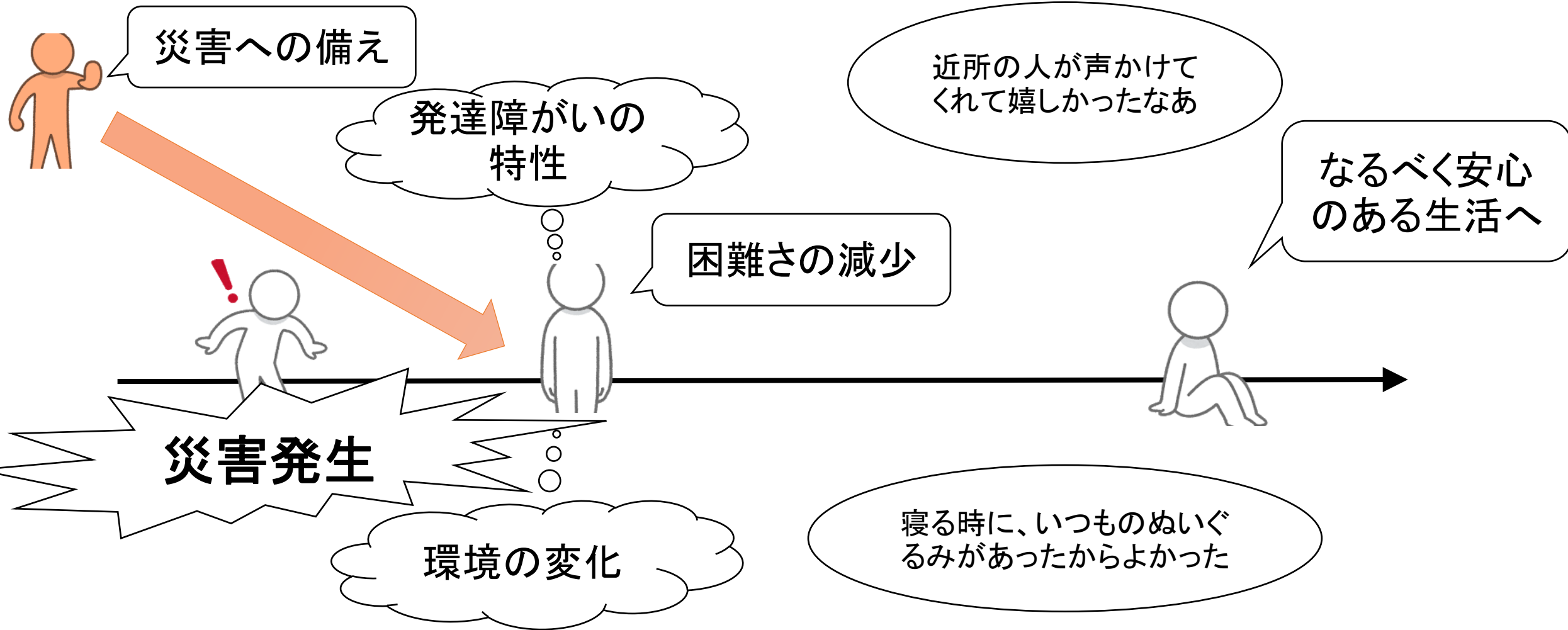
- ・ 交通機関が止まったり、医療機関が被災したりしたため、薬を取りに行くことができなかった。



## 備え

- ・ 薬は余裕をもって保管しておく。薬袋を取っておいたり、お薬手帳を付けておく。これらがあれば、別の医師からの処方も可能である(ただし薬によっては処方できる医師が指定されているものもある)。
- ・ 災害拠点病院の確認。(八代圏域は熊本労災病院)

# 災害への備えがもたらすもの



# 災害への備えについて

利用さんにはどんな準備があるといいかな？



# ここまでに出てきた例を参照にして

- 避難所まで実際に行って、敷地内を見学する。
- イアマフや耳栓、アイマスクを使ったことがないから、試してみる。
- ヘルプカードを作ってみる。
- 本人の安心グッズや備蓄しておいた方がいいものを書きだす。実際準備する。
- 福祉避難所について調べてみる。
- 避難行動要支援者名簿ってあるのかな？ちょっと聞いてみる。

などなど……

○ 参考になる資料(ダウンロード可能)

「自閉症の人たちのための防災・支援ハンドブック」(本人・家族用)(支援者用)

「発達障害のある人の防災実践BOOK 地震に備えていのちを守る」

「被災地で、発達障害児・者に対応されるみなさんへ(その1)(その2)(その3)」

「災害時の発達障害児・者支援エッセンス」

「やっぱりおうちがいいな」⇒ 絵本

「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」

○ 参考になるサイト

「産総研 活断層データベース」

「J-SHIS Map」⇒ 地震動予測地図

「熊本県津波浸水想定」